

# 新生児聴覚検査の費用を助成します

聴覚障害は、早期に発見され適切な支援が行なわれた場合には、聴覚障害による音声言語発達等への影響が最小限に抑えられることから、その早期発見・早期療育を図るために、新生児聴覚検査を実施することが重要といわれています。

一戸町では新生児聴覚検査に係る費用を助成します。

赤ちゃんが生まれたら、ぜひ新生児聴覚検査を受けましょう。

## \* 対象 \*

保護者が町内に住所を有する新生児で新生児聴覚検査を実施した方。

※ 新生児とは…生まれてから 28 日未満の赤ちゃんです。

## \* 申請期間 \*

出産後 5 ヶ月以内に申請してください。

## \* 助成金額 \*

お子さん 1 人につき、新生児聴覚検査に掛かった費用の全額を助成します。

## \* 申請窓口 \*

一戸町総合保健福祉センターの窓口で申請手続きを行います。

※ 奥中山地区センターでは申請手続きを受け付けておりません。

## \* 助成の受け方 \*

「一戸町新生児聴覚検査費用助成申請書兼請求書」に、領収書の写し、診療明細書の写し、母子健康手帳（P1「出生届出証明欄」、P18「検査の記録」欄）の写しを添付して提出してください。

※ 「一戸町新生児聴覚検査費用助成申請書兼請求書」は、母子健康手帳交付の際にあわせてお渡しします。



## お問い合わせ

一戸町総合保健福祉センター  
健康子ども課 保健師  
電話：0195-32-3700

## 新生児聴覚検査のご案内

赤ちゃんの聴覚に異常がないかを早期に発見するための検査です。生まれつき、両側の耳の聞こえに異常があるお子さんは、1,000人に1～2人とされています。この検査により、聴覚の異常を早期に発見し、適切な治療を行なうことで、言葉の発達への大きな効果が期待できます。

聞こえの障害は目に見えず発見が遅れがちですが、早期に発見するためにも、新生児聴覚検査を受けることをお勧めします。

### ○新生児聴覚検査はどのような検査ですか？

出産した医療機関において、出生後2日～退院前に行なわれます。赤ちゃんが眠っている間にヘッドホンのような機械を当てて、その反応を記録する方法で、5分程度で実施でき、痛みは全くありません。検査結果は、「パス」「要再検査（リファー）」のいずれかで、入院中に結果をお伝えします。

### ○すべての赤ちゃんが検査を受けた方がよいですか？

耳の聞こえに障害があるかどうかは、外見では分かりにくく、赤ちゃんの様子だけから判断することは困難です。そのため、早期に障がいを見出すために、検査を受けることをお勧めします。

### ○検査には健康保険が適用されますか？

新生児聴覚検査は健康保険が適用されないため、自費診療となります。費用は検査機器によって4,000円から18,000円程度ですが、詳しくは医療機関にお問い合わせください。

### ○検査の結果が「パス」だったときは？

現時点では、聞こえに問題はありますが、今後の成長過程で中耳炎やおたふく風邪などで、後になって、難聴が生じる場合もありますから、退院後も1歳6か月児健診、3歳児健診などで耳の聞こえはどうか、言葉の増え方は順調かなどの確認をしていくことが大切です。

### ○検査の結果が「再検査」だったときは？

「要再検査」であった場合でも、必ず耳の聞こえが悪いとは限りません。

生まれたばかりの赤ちゃんは、耳の中に液体が残っていたり、脳の発達がまだ十分でなかったりするため、新生児期の聴覚検査にパスしないことがあります。専門の耳鼻咽喉科（精密検査実施医療機関）でさらに詳しい聴力検査を受けていただくことが必要です。

#### 【岩手県内の精密検査実施医療機関】

岩手医科大学付属病院 内丸メディカルセンター

〒020-8505 岩手県盛岡市内丸19-1

電話番号：019-651-5111

